

令和4年12月26日

教職員各位

徳島大学危機対策本部長  
徳島大学長  
河村保彦

新型コロナウイルス感染症に関する就業措置について（通知）

標記について、下記のとおりお知らせします。感染拡大防止のため、本通知を遵守していただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、令和4年9月29日に発出した「新型コロナウイルス感染症に関する就業措置について（通知）」を更新するものであり、新型コロナウイルス感染症終息までの間の緊急時の時限付き対応であることを申し添えます。

記

1. 教職員に発熱、咳、咽頭痛などの風邪症状があり、感染した疑いがある場合について、「新型コロナウイルスに関する就業措置フロー」（別添1）に沿って、就業措置を行います。
2. 以下に掲げる場合について、「家族等がPCR検査等陽性になった場合等の対応」（別添2）に沿って、就業措置を行います。
  - (1) 同居家族にPCR検査等結果の陽性者がいた場合
  - (2) 濃厚接触の可能性が高いと自身で判断した場合
3. 本人又は同居する家族が感染者となった場合又は本人が感染者の濃厚接触者となった場合は、速やかに各部局総務担当係に連絡してください。
4. 就業措置等で就業禁止となった場合で体調に問題ない場合は、別紙の「事業場外勤務届」を所属の長へ提出してください。
5. 2又は無症状陽性者（病院職員を除く。）に該当する場合は、「濃厚接触者である職員の待機期間の短縮措置について」に基づき待機期間の短縮が可能とします。
6. その他留意点  
状況は日々変動しているため、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報の入手に努めてください。

**【本件担当】** 人事課常三島職員係 (82) 7017  
人事課蔵本職員係 (83) 7019

## 事業場外勤務届

令和 年 月 日

所属の長 殿

氏名

下記のとおり、事業場外勤務をしますので、届け出ます。

## 記

1.理由	新型コロナウイルス感染症に関する就業措置等
<input type="checkbox"/> 本人	<input type="checkbox"/> 感染者となった <input type="checkbox"/> 感染者の濃厚接触者となった <input type="checkbox"/> PCR検査等判定の待機 <input type="checkbox"/> その他( )
<input type="checkbox"/> 家族	<input type="checkbox"/> 感染者となった <input type="checkbox"/> PCR検査等判定の待機 <input type="checkbox"/> その他( )
2.待機期間	令和 年 月 日~令和 年 月 日
3.勤務場所	自宅
4.連絡先	〒 Tel
備考	

## 新型コロナウイルス感染症に関する就業措置フロー

発熱、咳、咽頭痛などの風邪症状があり、感染した疑いがある場合



- ①「かかりつけ医」や近くの「医療機関」に電話相談し、受診や検査の指示を受ける。
- ②「かかりつけ医」や近くの「医療機関」がない場合は保健所（受診・相談センター）に相談



新型コロナウイルスへの感染が疑われる。

No

Yes



PCR検査等を実施

結果が判明するまでは自宅待機

陰性

陽性



**就業禁止**

- ・就業禁止期間は保健所の指示に従う。
- ※指示がなければ、管轄保健所のHPを参照する。
- ※無症状の場合「濃厚接触者等である職員の待機期間の短縮措置について」に基づき、待機期間の短縮が可能。

感染者との接触歴がなく、発熱等の風邪症状が完全に消失した場合⇒**出勤可能**  
 ※PCR検査等陰性者はリスクに応じ就業禁止となる可能性もあり

風邪症状が見られ、平熱より高いと判断される場合⇒**自宅待機**  
 ※解熱後2日を経過するまで休養する。（特別休暇）



PCR検査等後10日以内に発熱等の風邪症状が発現した。



受診・相談センター（保健所）に相談し指示に従う。

※家族等がPCR検査等陽性になった場合等の対応は別添2を参照

## 家族等がPCR検査等陽性になった場合等の対応

### ①同居家族にPCR検査等結果の陽性者がいた場合

保健所又は本学の「新型コロナウイルス感染症の感染者および濃厚接触者等に関する対応について」の濃厚接触者の感染対策に従う。

※保健所から指示がない場合は、原則、陽性者の発症日（無症状の場合は検体採取日）又は住居内で感染対策を講じた日、いずれか遅い方を0日目として、5日間の就業禁止措置を行う。

※「濃厚接触者である職員の待機期間の短縮措置について」に基づき、待機期間の短縮が可能。

### ②濃厚接触の可能性が高いと自身で判断した場合

保健所又は本学の「新型コロナウイルス感染症の感染者および濃厚接触者等に関する対応について」の濃厚接触者の感染対策に従う。

※保健所から指示がない場合は、原則、陽性者と最後に接触した日を0日目として、5日間の就業禁止措置を行う。

※「濃厚接触者である職員の待機期間の短縮措置について」に基づき、待機期間の短縮が可能。

### ※参考

徳島県発出 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の方へのお願い  
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/5045415>

各部局長 殿

徳島大学危機対策本部長  
徳島大学長 河村 保彦

濃厚接触者等である職員の待機期間の短縮措置について（通知）

「新型コロナウイルス感染症対策に関する本学の基本方針」を受け、就業措置を講じていますが、本学職員は社会機能維持者としての責務もあります。事業の継続が図れるよう濃厚接触者の待機期間の短縮について、下記のとおり取り扱いますので、よろしくをお願いします。なお、本通知は、令和4年8月9日に発出した「濃厚接触者である職員の待機期間の短縮措置について（通知）」を更新するものです。

記

(1) 手続きの流れ

	濃厚接触者となった職員（陽性者（有症状者）と同居を継続していない場合で、無症状の者に限る。）	陽性者となった職員（他の陽性者（有症状者）と同居を継続していない場合で、無症状の者に限る。）
①	部局長より該当職員が、事業継続のため待機期間を短縮する必要がある旨の申し出を行う。（別紙1）	
②	検査キットを以下のいずれかの方法により準備する。 ・人事課又は当該部署の関係者から郵送される、本学所有の検査キットを受領する。 ・医療機関等で抗原定性検査キット※を受領する。 ※抗原定性検査キットは自費検査とし、薬事承認されたものを使用する。	
③	該当職員は、待機することとなった2日目と3日目に検査を実施する。（待機開始の起算日は、新型コロナウイルス感染症に関する就業措置についての別添2を参照） 人事課担当職員はその検査の実施状況及び結果を Teams 等オンラインにて確認する。	該当職員は、検体採取日を0日目とし、5日目に検査を実施する。 人事課担当職員はその検査の実施状況及び結果を Teams 等オンラインにて確認する。
④	人事課より部局長へ検査結果を報告する。（別紙1）	
⑤	○両日陰性の場合 3日目に出勤可能とする。ただし7日間は検温などの健康状態の確認をすること。 ○陽性の場合 該当職員は医療機関を受診し、陽性が確定した場合、医療機関の指示に従う。	○陰性の場合 6日目に出勤可能とする。ただし10日間は検温などの健康状態の確認をすること。 ○陽性の場合 該当職員は医療機関を受診し、陽性が確定した場合、医療機関の指示に従う。

(注意)

陽性者となった職員の待機期間の短縮措置については、病院職員には適用しません。病院からの通知等に従ってください。

(2) その他

- ① 検体採取及び検査方法の手順に関する説明動画等の視聴について  
アドテック株式会社 アドテスト SARS-CoV-2  
別紙マニュアルと併せて、動画にて検体採取方法等をご確認ください。  
<https://www.adtec-inc.co.jp/images/adtest-sars-cov2.mp4>
- ② 検査の申出は平日に行ってください。なお、検査は休日も実施します。
- ③ 当該検査は医療従事者が不在のため、検査結果に基づき当該職員が感染しているか否かについて判断を行うことはできません。
- ④ 出勤可能となった場合も引き続き新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じてください。

担当 総務部人事課  
常三島職員係 川辺（82）-7017

## 待機期間短縮申出及び結果報告書

令和 年 月 日

徳島大学長 殿

部局長名

下記のとおり、待機期間の短縮について申出ます。

## 記

1. 氏名	
2. 短縮が必要な理由	
3. 陽性者との最終接触日 (本人陽性の場合、検体採取日)	令和 年 月 日
4. 待機期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
5. PCR 検査等実施	有 (令和 年 月 日) 無
6. 検査キットの送付先 (郵送希望の場合のみ)	〒 住所 Tel
7. 検査時使用のメール	
9. 症状がないことの確認 (症状がないものにチェック)	<input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 嘔気・嘔吐 <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 味覚または嗅覚の消失 <input type="checkbox"/> 呼吸困難 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 鼻汁・鼻閉 <input type="checkbox"/> 眼の充血または炎症 <input type="checkbox"/> 喉の痛み <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 関節の痛み
10. 同居の方の症状の確認	<input type="checkbox"/> 9. のいずれかの症状がある <input type="checkbox"/> 9. のいずれかの症状がない

## 結果報告

1	令和 年 月 日		確認者
2	令和 年 月 日		確認者

# アドテストSARS-CoV-2 操作方法

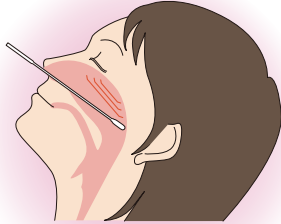
操作方法の  
動画は  
こちら→



ご使用前に必ず添付文書をお読みください。

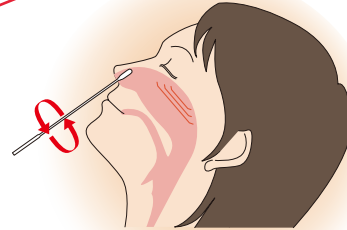
検体抽出液入りチューブ、テストカードはアルミパックのまま、室内温度(15℃~37℃)に戻してからご使用ください。

## 検体の採取方法



### 【鼻咽頭ぬぐい液の採取方法】

滅菌綿棒を鼻腔孔から耳孔を結ぶ線にほぼ平行に鼻腔底に沿ってゆっくり挿入し、鼻咽頭を数回擦過して、ぬぐい液を採取します。



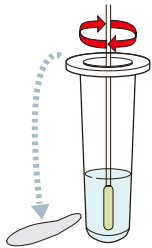
### 【鼻腔ぬぐい液の採取方法】

滅菌綿棒を鼻腔に沿って2cm程度挿入し、鼻甲介付近をゆっくり5回程度回転させ、ぬぐい液を採取します。

\*被検者自身が採取する際は、鼻出血が起こりやすい部位である点にも配慮し、医療従事者の管理下で実施してください。

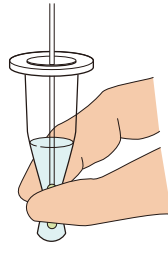
## 検体の抽出・測定操作方法

1



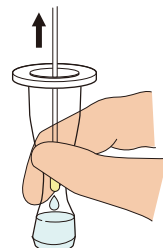
検体抽出液入りチューブのアルミシールをはがします。検体を採取した綿棒を検体抽出液に浸し、よく攪拌します。

2



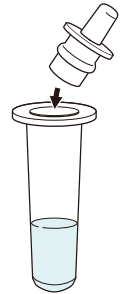
チューブの外側から綿球部分を指でつまんで“もむ”ようにし、採取した検体をよく絞り出します。

3



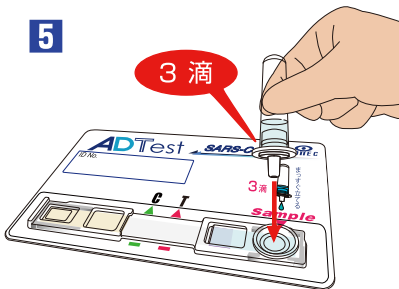
チューブをつまんでしごくように綿棒を引き抜き、液を絞り出します。絞り出した液体を検体液とします。

4



付属のフィルター付きノズルを奥まで**しっかり**はめこみます。

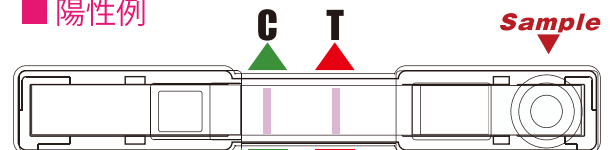
5



検体液入りチューブの中程をつまみ、テストカードの検体滴下部に、検体液**3滴**を**ゆっくり**滴下してください。

検体滴下から**15分**静置

■陽性例



判定部 [C] および判定部 [T] の両方に赤色~紫色のラインが出現した場合には、陽性と判断します。

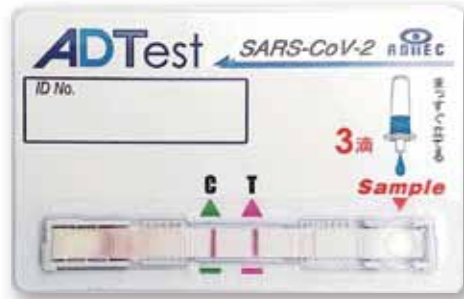
判定時間は15分

15分より以前に判定部 [C] および判定部 [T] にラインが確認できた場合、その時点で陽性と判断することができます。



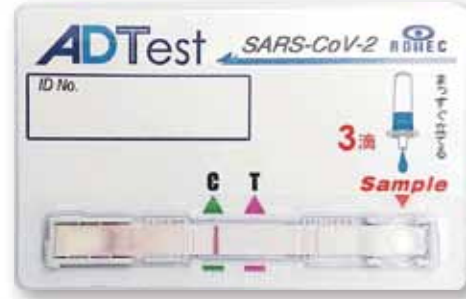
## 判定方法

## 陽性例



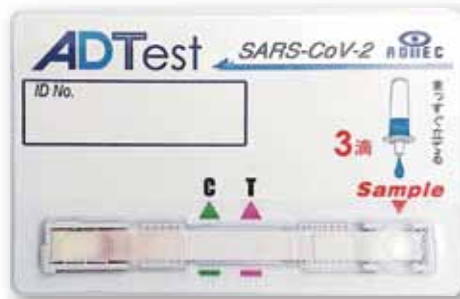
判定部 [C] と判定部 [T] にラインが出現した場合には陽性と判定します。

## 陰性例

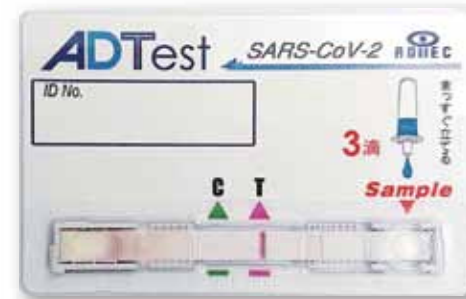


判定部 [C] のみにラインが出現する場合には陰性と判定します。

## 判定保留例



判定部 [C] にラインが認められず、判定部 [T] にもラインが認められない場合



判定部 [C] にラインが認められず、判定部 [T] にラインが出現した場合

## よくあるご質問

## Q1：検体採取から結果判定までを被験者が実施することは可能ですか？

A1：鼻腔ぬぐい液の場合、検体採取に関する注意点等を理解した職員の管理下で、自己採取可能です。結果判定は、施設が定めた「検査実施管理者」が行うことも可能です。（※診断は、医師のみが可能な行為です。）採材および本キットのご使用は、可能な限り医療従事者の管理下で実施してください。

## Q2：何分まで判定できますか？

A2：判定時間は 15 分です。検体滴下後 15 分が経過したら速やかに判定を行ってください。判定時間を過ぎた場合は、非特異反応による発色リスクが高くなる可能性が有りますので判定部 [T] にラインが認められても判定は避けてください。

## Q3：わずかのラインでも陽性と判定していいですか？

A3：ラインが確認出来れば陽性と判定してください。偽陽性が全く無いわけではないので判定は本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。

## Q4：キットを新型コロナウイルスの排出のモニタリングに使用できますか？キットが陰性であったり陽性であったものが陰性になれば、学校や会社に行っても良いですか？

A4：使用目的は、鼻咽頭ぬぐい液又は鼻腔ぬぐい液中の SARS-CoV-2 抗原の検出（SARS-CoV-2 感染の診断の補助）です。使用目的以外の使用は出来ません。また、本品の判定が陰性であっても SARS-CoV-2 感染を否定するものではありません。本製品による検査結果のみでおこなわず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。

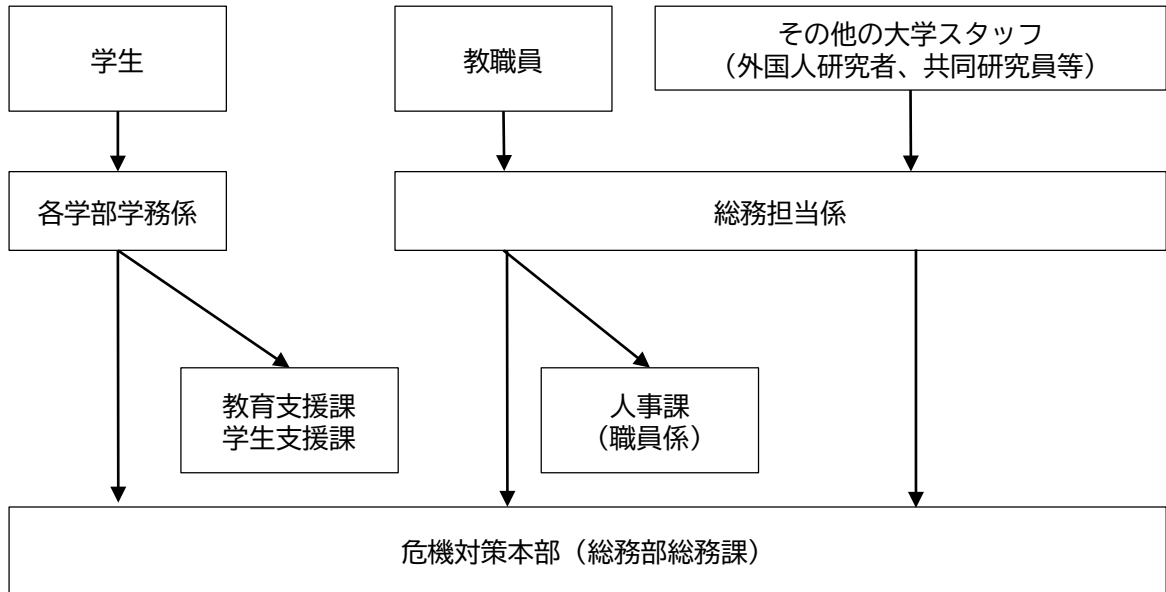
## Q5：変異株の検出は可能ですか？

A5：検出は可能です。  
英国株、南アフリカ株、ブラジル株との反応性を確認しています。

## 新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者等に関する対応について

## ■報告が必要な場合

- ① 感染が判明したとき
- ② 同居家族の感染が判明したとき(濃厚接触者)
- ③ 保健所から濃厚接触者になったとの連絡があったとき
- ④ 濃厚接触の可能性が高いと自身で判断したとき



## ■対 応

各部署等は、構成員から上記「報告が必要な場合①～④」に該当するとの報告があったときは、以下の聞き取りを行い危機対策本部等へ報告する。

- ・ 氏名、所属(学部等名)、職名(学科・専攻等、学年)、陽性判明日、症状、ワクチン接種状況(回数)等

※報告内容は、別紙1～4を参照

聞き取り後は、「報告が必要な場合①～④」により以下の対応を行う。

## ① 感染が判明したとき

登校・出勤状況と本学関係者との接触状況を確認し、別紙「濃厚接触者等の特定」(以下、「別紙」という。)を参考に濃厚接触者、接触者を特定する。

濃厚接触者、接触者へ感染対策の措置を連絡する。

危機対策本部等へ濃厚接触者の(氏名、所属、職名又は学年等)の情報を報告する。

## ② 同居家族の感染が判明したとき(濃厚接触者)

## ③ 保健所から濃厚接触者になったとの連絡があったとき

②、③に該当する者が、無症状の場合は、本学関係者の濃厚接触者、接触者の追跡は原則不要ですが、症状がある場合、又は後に症状が出現したり感染が判明した場合は、感染者に準ずる取り扱いとし、濃厚接触者等の特定と濃厚接触者としての対応を行ってください。

#### ④ 濃厚接触の可能性が高いと自身で判断したとき

「別紙」濃厚接触者の措置を連絡する。

④に該当する者が無症状の場合は、本学関係者の濃厚接触者、接触者の追跡は原則不要ですが、症状がある場合、又は後に症状が出現したり感染が判明した場合は、感染者に準ずる取り扱いとし、濃厚接触者等の特定と濃厚接触者としての対応を行ってください。

### ■感染対策

#### ① 感染が判明したとき

以下のHPを参考に保健所の指示に従ってください。

【参考】新型コロナウイルス感染症 陽性の方へ

※徳島保健所HPより

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/5045432/>

#### ② 同居家族の感染が判明したとき（濃厚接触者）

#### ③ 保健所から濃厚接触者になったとの連絡があったとき

②、③の場合は、保健所が積極的疫学調査を行い濃厚接触者の特定を行いますので、保健所の指示に従ってください。

ただし、保健所からの連絡が遅れている場合は、以下のHPを参考に自宅待機と健康観察をお願いします。

【参考】新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の方へのお願い（同居家族は濃厚接触者となります）

※徳島保健所HPより

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/5045415/>

#### ④ 濃厚接触の可能性が高いと自身で判断したとき

##### ・「別紙」により濃厚接触者と特定した場合

④及び「別紙」により濃厚接触者と特定した場合の感染対策は、感染者と接触があった最後の日を0日目とし、原則として5日間（6日目解除）は外出を自粛し自宅待機してください。

- ・1日2回、体温を測り健康状態を確認
- ・仕事、登校を含めた不要不急の外出を自粛
- ・他の人との接触をしないように注意

なお、2日目及び3日目に抗原定性検査キットを用いた検査※1で陰性を確認した場合は、3日目から自宅待機の解除が可能です。

※職員は、「濃厚接触者である職員の待機期間の短縮措置について」に基づき陰性を確認した場合も、待機期間の短縮が可能です。

#### ②～④の濃厚接触者のいずれの場合でも7日間が経過するまでは、次の感染対策を行ってください。

- ・検温など自身による健康状態の確認
- ・他者と濃厚接触になる行動（食事、飲み会、カラオケ、ドライブ等）は避ける。
- ・ハイリスク者※2との接触やハイリスク施設※3への訪問を避ける。
- ・不特定多数の者が集まるイベントの参加等感染リスクの高い行動を控える。

##### ・「別紙」により接触者と特定した場合

「別紙」により接触者と特定した場合の感染対策は、感染者と接触のあった最後の日を0日目として7日間、次の感染対策を行ってください。

- ・検温など自身による健康状態の確認
- ・他者と濃厚接触になる行動（食事、飲み会、カラオケ、ドライブ等）は避ける。
- ・ハイリスク者※2との接触やハイリスク施設※3への訪問を避ける。
- ・不特定多数の者が集まるイベントの参加等感染リスクの高い行動を控える。

※1抗原定性検査キットは自費検査とし、体外診断用医薬品と書かれているものを必ず用いてください。  
※2ハイリスク者:高齢者や基礎疾患を有する者等感染した場合に重症化リスクの高い方  
※3ハイリスク施設:ハイリスク者が多く入所・入院する高齢者・障害児施設や医療機関

※ 病院に勤務する職員及び病院で実習する学生には、病院又は学部等で別の取扱いとして差し支えありません。

## 【感染者への聞き取り】濃厚接触者等の特定

## 感染可能期間

□有症状の場合

・発症日の2日前: R 年 月 日

□無症状の場合

・検体を採取した日の2日前: R 年 月 日

無症状の場合は、検体を採取した日が発症日扱いとなります。

感染可能期間中に人と会っている

いいえ

濃厚接触者等なし

はい

感染可能期間中に以下の接触をしたか確認しましょう。  
ひとつでもあてはまると「感染の可能性」があります。

- お互いにマスクなしで、手を伸ばせば触れる距離(約1メートル以内)で15分以上会話がある接触をした
- 感染者がマスクを着用せず、手を伸ばせば触れる距離(約1メートル以内)で15分以上会話がある接触をした
- 同一室内で、長時間、近距離で一緒に行動した  
(長時間の目安: 30分以上、近距離の目安: 互いに手を伸ばして届く距離(約2メートル以内)、行動の例: 食事、飲み会、ドライブ、カラオケ、勉強会、サークル活動等)  
(注1)マスクを着用している場合でも該当する。  
(注2)2方向を開放して常時充分な換気を行い、さらにほとんど会話をしていなかった場合は該当しない。
- 感染者と同居していた(同居者、同居家族等)

はい

## 濃厚接触者

感染者と接触があった最後の日を0日目とし、原則として5日間(6日目解除)は、外出を自粛し自宅待機してください。

同居の場合は保健所に待機期間を確認してください。

- ✓ 1日2回、体温を測り健康状態を確認
- ✓ 仕事、登校を含めた不要不急の外出を自粛
- ✓ 他の人との接触をしないように注意

なお、2日目及び3日目に抗原定性検査キットを用いた検査※1で陰性を確認した場合は、3日目から自宅待機の解除が可能です。

※職員は、「濃厚接触者である職員の待機期間の短縮措置について」に基づき陰性を確認した場合も、待機期間の短縮が可能です。

※危機対策本部等へ濃厚接触者の(氏名、所属、職名又は学年等)の報告をしてください。

症状が出現したら、医療機関を受診し、大学にも報告をしてください。

※無症状の場合は、本学関係者の濃厚接触者、接触者の追跡は原則不要ですが、症状がある場合又は後に症状が出現したり感染が判明した場合は、感染者に準ずる取り扱いとし、濃厚接触者等の特定と濃厚接触者としての対応を行ってください。

いいえ

## 接触者

上記には該当しないが、感染者と同じ室内に長時間いた等の場合は、感染者と接触があった最後の日を0日目とし、7日間次の感染対策を行ってください。

- ✓ 検温など自身による健康状態の確認
- ✓ 他者と濃厚接触になる行動(食事、飲み会、カラオケ、ドライブ等)は避ける。
- ✓ ハイリスク者※2との接触やハイリスク施設※3への訪問を避ける
- ✓ 不特定多数の者が集まるイベントの参加等感染リスクの高い行動を控える

感染の不安があれば無料検査を受けてください  
体調不良があれば速やかに医療機関へ

※1抗原定性検査キットは自費検査とし、体外診断用医薬品と書かれているものを必ず用いてください。

※2ハイリスク者: 高齢者や基礎疾患を有する者等感染した場合に重症化リスクの高い方

※3ハイリスク施設: ハイリスク者が多く入所・入院する高齢者・障害児施設や医療機関

判断がつかない場合は、聞き取りをした担当係からキャンパスライフ健康支援センターにご相談ください。  
(行動歴や感染対策の詳細情報を事前に確認してください。)

■発熱等の体調不良が出た場合

医療機関の受診(電話をしてから受診すること)、又は「受診・相談センター」(電話 0570-200-218)へ相談

■接触者の方は県の無料検査が利用できます。(濃厚接触者は利用不可)

徳島県ワクチン検査パッケージ等検査サイト(徳島県) <https://tokushima-kensamuryo.info/>

参考:徳島保健所ホームページ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/7203784/>

記録日:令和 年 月 日

「① 感染が判明した時」報告様式【教職員用】

●記録者所属・氏名:

.....

●感染が判明した職員の情報

所 属	
フリガナ 氏 名	
職 名	
(PCR・抗原等) 検査実施日	令和 年 月 日
陽性判明日	令和 年 月 日
ワクチン接種回数	回
最終出勤日(勤務時間)	令和 年 月 日( 時 分 ~ 時 分)
症 状	有 (発症日:令和 年 月 日、症状の内容 ) 無
保健所から指示の あった自宅待機期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日まで ・陽性者となった場合で、保健所から待機指示がない場合 発症日・検体採取日:令和 年 月 日 ~ 日間
学内濃厚接触者	有 ・ 無 「有の場合」の学内濃厚接触者の情報 【職員】 所属・氏名・職名: 接触した内容: 自宅待機等の依頼内容:  【学生】 学部等名: 学科・専攻等、学年: 氏 名: 接触した内容: 自宅待機等の依頼内容 ※複数人の場合は適宜追加してください。
備 考	

【参考】新型コロナウイルス感染症 陽性の方へ

※徳島保健所 HP より

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/5045432/>

「① 感染が判明した時」報告様式【学生用】

●記録者所属・氏名:

.....

●感染が判明した学生の情報

学部等名	
学科・専攻等、学年	
フリガナ 氏 名	
(PCR・抗原等) 検査実施日	令和 年 月 日
陽性判明日	令和 年 月 日
ワクチン接種回数	回
症 状	有 (発症日:令和 年 月 日、症状の内容 ) 無
保健所から指示の あった自宅待機期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日まで ・陽性者となった場合で、保健所から待機指示がない場合 発症日・検体採取日:令和 年 月 日 ~ 日間
学内濃厚接触者	有 ・ 無 「有の場合」の学内濃厚接触者の情報 【学生】 学部等名: 学科・専攻等、学年: 氏 名: 接触した内容: 自宅待機等の依頼内容  【職員】 所属・氏名・職名: 接触した内容: 自宅待機等の依頼内容 ※複数人の場合は適宜追加してください。
備 考 (課外活動等の関連がある 場合は、行動歴等を記載し てください。)	

【参考】新型コロナウイルス感染症 陽性の方へ

※徳島保健所 HP より

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/5045432/>



## 取扱嚴重注意

記録日:令和 年 月 日

「濃厚接触者(同居家族の感染判明を含)又は濃厚接触の可能生が高いと判断した場合」

報告様式【教職員用】

●記録者所属・氏名:

- .....
- 同居家族の感染が判明した
- 保健所から濃厚接触者になったとの連絡があった
- 濃厚接触の可能生が高いと自身で判断した
- その他:

所 属	
フリガナ 氏 名	
職 名	
(PCR・抗原等) 検査実施日	令和 年 月 日 ・ 未定
結果判明日	令和 年 月 日( 陽性 ・ 陰性 )
ワクチン接種回数	回
最終出勤日(勤務時間)	令和 年 月 日( 時 分 ~ 時 分)
症 状	有 (発症日:令和 年 月 日、症状の内容 ) →有の場合、学内の濃厚接触者の有無 ( 有 ・ 無 ) ※「症状有」で「学内の濃厚接触者有」の場合は、別途報告してください。 無
保健所から指示の あった自宅待機期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日まで ・同居家族陽性による濃厚接触者となった場合で、保健所から待機指示がない場合 家庭内で感染対策を講じた日:令和 年 月 日~
感染判明者 (同居家族等) の情報	職員との関係・続柄(友人、妻、長男等): (PCR・抗原等)検査実施日:令和 年 月 日 陽性判明日:令和 年 月 日 症 状:有 (発症日:令和 年 月 日、症状の内容 ) 無 ※複数人の場合は適宜追加してください。
備 考	

【参考】新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の方へのお願い(同居家族は濃厚接触者となります)

※徳島保健所 HP より

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/5045415/>

**取扱嚴重注意**

記録日:令和 年 月 日

「濃厚接触者(同居家族の感染判明を含)又は濃厚接触の可能生が高いと判断した場合」

**報告様式【学生用】**

●記録者所属・氏名:

.....

- 同居家族の感染が判明した  
保健所から濃厚接触者になったとの連絡があった  
濃厚接触の可能生が高いと自身で判断した  
その他:

学部等名	
学科・専攻等、学年	
フリガナ 氏名	
(PCR・抗原等) 検査実施日	令和 年 月 日 ・ 未定
結果判明日	令和 年 月 日( 陽性 ・ 陰性 )
ワクチン接種回数	回
症 状	有 (発症日:令和 年 月 日、症状の内容 ) →有の場合、学内の濃厚接触者の有無 ( 有 ・ 無 ) ※「症状有」で「学内の濃厚接触者有」の場合は、別途報告してください。 無
保健所から指示の あった自宅待機期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日まで ・同居家族陽性による濃厚接触者となった場合で、保健所から待機指示がない場合 家庭内で感染対策を講じた日:令和 年 月 日~
感染判明者 (同居家族等) の情報	学生との関係・続柄(友人、父、妹等): (PCR・抗原等)検査実施日:令和 年 月 日 陽性判明日:令和 年 月 日 症 状:有 (発症日:令和 年 月 日、症状の内容 ) 無 ※複数人の場合は適宜追加してください。
備 考	

【参考】新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の方へのお願い(同居家族は濃厚接触者となります)

※徳島保健所 HP より

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tokuho/taisaku/5045415/>